

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、償却原価法（定額法）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・退職給付に備えるため、自己都合期末要支給額を計上している。

(4) リース取引関係

リース取引のうち未経過リース料

一年内 3,645,648円

一年超 965,520円

合 計 4,611,168円

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	32,000,000	0	0	32,000,000
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	82,000,000	0	0	82,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	275,695,424	13,445,452	22,661,310	266,479,566
減価償却引当資産	53,513,288	0	0	53,513,288
いきがい振興積立資産	207,891,263	118,105,558	118,105,558	207,891,263
県民活動総合センター事業 推進積立資産	58,661,338	0	0	58,661,338
シルバー人材センター運営 基盤強化積立資産	0	4,392,034	0	4,392,034
新規企業開拓・会員確保・ マッチング促進積立資産	0	6,334,000	0	6,334,000
小 計	595,761,313	142,277,044	140,766,868	597,271,489
合 計	677,761,313	142,277,044	140,766,868	679,271,489

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)		
		(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	32,000,000	(32,000,000)		
投資有価証券	50,000,000	(50,000,000)		
小 計	82,000,000	(82,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	266,479,566			(266,479,566)
減価償却引当資産	53,513,288		(53,513,288)	
いきがい振興積立資産	207,891,263		(207,891,263)	
県民活動総合センター事業 推進積立資産	58,661,338		(58,661,338)	
シルバー人材センター運営 基盤強化積立資産	4,392,034		(4,392,034)	
新規企業開拓・会員確保・ マッチング促進積立資産	6,334,000		(6,334,000)	
小 計	597,271,489	(0)	(330,791,923)	(266,479,566)
合 計	679,271,489	(82,000,000)	(330,791,923)	(266,479,566)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	4,100,000	588,783	3,511,217
什器備品	99,047,119	51,335,312	47,711,807
ソフトウェア	24,243,945	19,051,772	5,192,173
電話加入権	1,017,688	0	1,017,688
合計	128,408,752	70,975,867	57,432,885

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
埼玉県債			
平成25年1回彩の国 みらい債	10,000,000	10,002,690	2,690
平成25年2回彩の国 みらい債	10,000,000	9,994,190	△ 5,810
平成26年1回彩の国 みらい債	10,000,000	9,987,610	△ 12,390
平成26年2回彩の国 みらい債	10,000,000	9,979,040	△ 20,960
平成27年1回彩の国 みらい債	10,000,000	9,966,380	△ 33,620
第6回埼玉の川・愛県 債	10,000,000	10,000,370	370
第7回埼玉の川・愛県 債	10,000,000	9,979,860	△ 20,140
合計	70,000,000	69,910,140	△ 89,860

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	厚生労働省	0	7,721,000	7,721,000	0	
雇用開発支援事業費等補助金	厚生労働省	0	7,800,000	7,800,000	0	
シルバー人材センター連合事業費補助金	埼玉県	0	10,900,000	10,900,000	0	
シルバー・ワークステーション事業費補助金	埼玉県	0	24,675,000	24,675,000	0	
高齢者活動支援事業費補助金	埼玉県	0	67,486,000	67,486,000	0	
彩の国いきがい大学事業費補助金	埼玉県	0	9,598,000	9,598,000	0	
彩の国プラチナフェスティバル開催費等補助金	埼玉県	0	713,000	713,000	0	
助成金						
都道府県シルバー連合助成事業助成金	(公社)全国シルバー人材センター事業協会	0	1,600,000	1,600,000	0	
合計		0	130,493,000	130,493,000	0	

7 埼玉県との取引の内容

埼玉県との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

取引の内容	取引金額	科目	期末残高
シルバー人材センター連合事業の実施	10,900,000	地方公共団体補助金収入	0
シルバー・ワークステーション事業の実施	24,675,000	地方公共団体補助金収入	0
高齢者活動支援事業の実施	67,486,000	地方公共団体補助金収入	0
彩の国いきがい大学事業の実施	9,598,000	地方公共団体補助金収入	0
彩の国プラチナフェスティバル事業の実施	713,000	地方公共団体補助金収入	0
全国健康福祉祭選手団選考・派遣事業の実施	3,750,279	地方公共団体受託事業収入	0
県民活動総合センターの管理運営	250,710,000	地方公共団体受託事業収入	0
NPO活動促進助成事業の実施	6,430,971	地方公共団体受託事業収入	0
いきいきボランティア養成講座の実施	4,918,320	地方公共団体受託事業収入	0

取引条件の決定…受託事業については随意契約によっている。

8 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前期末		当期末	
現金預金勘定	266,859,890	現金預金勘定	305,054,505
預入期間が3か月を超える定期預金	—	預入期間が3か月を超える定期預金	—
現金及び現金同等物	266,859,890	現金及び現金同等物	305,054,505

(2) 重要な非資金取引はない。